

学校経営基本方針		『自立貢献』夢をもち 自分で考え 判断し行動する		基本方針と努力事項『確かな学力』『豊かな心』『たくましい心と体』『信頼される学校』		
目標	実践内容	具体的な取組	成果と課題(○:成果 ●:課題)		自己評価 4段階	学校評議会評価 4段階
I 人の学力と確実性を育む 生徒の実態を踏まえ、一人一人	学習活動の充実	学習規律の確立 統一した学習指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 「321の徹底」(3分前入室・2分前着席・1分前黙想) 学力クラスマッチの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の主体的活動(委員会活動)により、学力クラスマッチ対策が充実し、基礎学力の定着につながった。 ● 学年によっては、落ち着いた雰囲気で授業に取り組めない場面もあった。今後も根気強く、継続した指導と保護者の協力体制を築くことが必要である。 	2	2
	教師の授業力の向上	校内研究授業の実施 (全員の研究授業)	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業による日々の授業の改善 授業研究会の充実 ICTを効果的に活用した授業の工夫・改善 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全職員で研究授業を実施し、ICT(タブレット)を活用した授業について実践することができた。 ● ICT(タブレット)を活用した授業については、昨年度よりも授業において活用する機会が増えたが、今後も研修を重ね、工夫・改善が必要である。 	3	3
II 思いやりや感動する心をもつた生徒を育成する	豊かな体験活動の充実	キャリア教育の推進 学校外活動の連携	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育講演会実施 キャリアパスポートの作成による評価の改善 生徒会活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャリア教育講演会及び高校出前授業を実施し、将来の職業に対する意識を高めることができた。 ○ 生徒会活動の充実に向けて、生徒会役員・管理職・教務主任・生徒会担当でミーティングを実施し、今後の取組に対しての意見交換を行った。 ● 総合的な学習の時間におけるキャリア教育のさらなる充実が必要である。 	3	3
	心の教育の充実	基本的な生活習慣の充実 あいさつと返事の習慣化	<ul style="list-style-type: none"> 8:15登校完了の徹底及び時間厳守の指導 無言清掃の徹底 容儀面の指導の徹底(定期的な容儀検査) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 容儀面については、大半の生徒が問題なく生活することができている。 ○ 無言清掃については、概ね徹底することができた。 ● 時間厳守の指導については、今後も継続した指導が必要である。 	3	3
III たくましく生きるための健康を身に付けさせる	健康安全教育の推進	生活リズムの確立 生命・安全を大切にする指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染症対策 「残食ゼロ」指導の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナウイルス対策において、委員会活動を中心に取り組むことができた。(換気の徹底及び加湿器の管理等) ● 「残食ゼロ」指導については、今後も継続した指導が必要である。 	3	3
	部活動の充実	キャプテン会の実施	<ul style="list-style-type: none"> 部活動の視点から学校をよりよい方向へ導いていく取組(部活動生集会、キャプテン会の実施) 部顧問会による基本方針の統一 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍で様々な制限がある中での部活動であったが、各部活動で目標に向けて活動することができた。 ● 部活動生集会・キャプテン会を開催することができなかつた。次年度に向けて、会の内容等について検討をしていきたい。 	3	3
IV 学校づくりを推進する 家庭・地域と連携し、開かれた	学校開放の促進	地域の諸団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> 青少協との連携及び民生児童委員会の本校開催 ホームページの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページについては、学校行事等の様子を定期的に更新し、充実することができた。 ● コロナ禍のため、実施できることできないことを精査しながらの開催であった。 ● 地域との会合や連携については実施できず、学校の実情を伝えることができなかつた。 	2	3
	地域連携事業の創出	学校支援ボランティアの積極的な活用 学校運営協議会の発足	<ul style="list-style-type: none"> はげまし隊との連携の充実 学校運営協議会メンバーの選定及び学校運営協議会の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校運営協議会準備委員会を発足し、メンバーの選定及び学校運営協議会の設置に向けて協議を行うことができた。 ● はげまし隊に支援をいただいたが、指導面で御迷惑をおかけすることがあった。班長と現状についてのミーティングを実施し、改善にむけての意見交換を行つた。 	3	3

